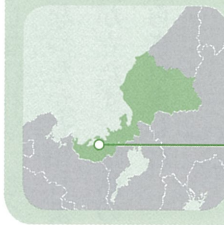


# 夏休み公民館開放事業で 子どもと交流

福井県小浜市 今富地区老人クラブ連合会

●クラブ数 9クラブ

●会員数 562名(男性253名 女性309名)



福井県小浜市

今富地区は農業中心でしたが、近年は宅地が増え、小浜市郊外の住宅地として市内で唯一人口が増加しています。そのような中でも昔からの祭りごと、風習も大切に守り継がれています。

## 夏休みのひと時を子どもと過ごす

地区老連の特色ある活動として「夏休み公民館開放」への協力があります。夏休み中の6日間、公民館を開放して地区の小学生と大人が交流、長い夏休みのひと時を楽しいものにしてもらおうというものです。

今富公民館を拠点としたこの交流事業は毎年大人気で、朝8時過ぎから子どもたちがぞろぞろと集まり、当日朝8時頃より公民館に集まり、子どもたちが解散するまで、それぞれの担当場所役割があります。男性は、子どもたちの自転車の整列指導・参加者受付・宿題の見守り・あそびなどの準備片付け・食事の配膳・手洗い指導など、そして女性はお得意のごはん作りです。

## 経験を生かした交流

昼食を一緒に食べることは、クラブ会員の「家で一人よりみんなで食べた方が美味しいから、公民館で食事を作ってはどうか」という提案から初年度より実施しています。キッズキッチンなど子どもの食育教育に取り組んでいる小浜市民ならではの発想です。



食事の準備は一仕事

くぞくと公民館に集まってきました。9時から夏休みの宿題、10時から体験・あそびの時間、11時から一緒に昼ご飯を食べて解散という時間割です。

この事業は、平成18年に公民館より協力依頼があったことから始まりました。「長い夏休みを子どもたちはどう過ごしているか。共働き世帯が多いため、一人でテレビを見たりゲームをしているのではないか。それなら日中、地域の方に協力いただいて、子どもと大人と一緒に公民館で過ごしてはどうか。子どもたちは宿題もはかどり、友達にも会えて、楽しい夏休みになるのではないか」というものでした。老人クラブの年間行事には「草刈り奉仕作業、歩こう会、グラウンド・ゴルフ

会員は、当日朝8時頃より公民館に集まり、子どもたちが解散するまで、それぞれの担当場所役割があります。男性は、子どもたちの自転車の整列指導・参加者受付・宿題の見守り・あそびなどの準備片付け・食事の配膳・手洗い指導など、そして女性はお得意のごはん作りです。

昼食はカレーライスや炊き込みご飯などですが、近年は流しそうめんの台を会員が竹を切り出して作り、流しそうめん大会も行っています。流しそうめんの日は子どもたちも楽しみにして、一際大きな歓声があがります。また会員よりトマト、キュウリなど夏野菜の差し入れがあり、彩りある食事を提供できています。

地区は核家族が多く、子どもと年配者は関わりが少ないですが、この交流を通して顔見知りになり、道で会うと子どもから挨拶してくれることも多くなりました。「元気な子どもたちとふれあい、活動に参加する会員相互の親睦も図れて、さらに安心安全なまちづくりにもつながっている活動です。」「地域の子どもは地域で見守ろう」を合言葉



まずは宿題の時間



など軽スポーツ大会、囲碁将棋大会、慰安旅行」など様々な行事があります。夏休みに小学生と交流する・お世話をするという試みは初めてであり、無理をせず参加できる者だけ協力していこうということになりました。この事業にはクラブだけでなく婦人会など



楽しみな「流しそうめんの日」

に、低学年の下校ボランティア、農業体験など子どもと関わる様々な活動もしています。子どもとの交流は今の時代に特に必要とされ、今後も培ってきた経験を生かしながら地区の活動に取り組んでまいりたいと思います。

(会長) 時岡俊雄、  
今富公民館主事 山口悦子